

## 中小企業支援へセンター開所 袋井市、静岡理工科大 連携



開所式であいさつする原田英之市長＝袋井市の静岡理工科大で

袋井市と静岡理工科大(同市豊浜)が中心となり、市内の商工団体や金融機関などと連携して競争力のある中小企業の成長を支援する「ふくろい産業イノベーションセンター」が二日、同大やらまいか創造工学センター内にオープンした。産学官・金融が一体とな

り、ふくろい産業イノベーション推進協議会を設立。原田英之市長、静岡理工科大の野口博学長、袋井商工会議所の水谷欣志会頭ら七人の協議会委員によってセンターを運営する。センターは小笠原敦・滋賀医科大特任教授をセンター長に、大学、商工団体、金融機関職員らで構成する事務局長、コーディネーター計七人体制でスタート。企業を個別に訪れ、技術課題の掘り起こしや解決支援に当たるほか、技術セミナー、開発促進セミナーを開催するなどして産業イノベーションを促す。

二〇二二年度は企業訪問による企業のデータベース化▽大学教員の研究に関するデータベースの構築による研究の「見える化」▽研究開発・製品化に向けた資金獲得策の実行―などに取り組む。

開所式には協議会委員やコーディネーター、大学関係者ら二十人が出席。協議会長の原田市長があいさつで「いよいよスタート。袋井市のみならず大学、近郊の産業に必ずや役立ち、大きな花を咲かせることを望んでいます」と期待を述べた。

(土屋祐二)